

## 「エコチル調査」を応援しています。

富山市長 森 雅志



2011年より全国的に展開されているエコチル調査は、子どもにとって有害な環境要因を解明しようとする画期的な試みであり、母子保健推進の観点からもその成果が期待されることです。全国15か所のキーステーションの一つとして富山が選定され、富山県においては約3,800人が登録・協力されていることは誠に意義深く、本市といたしましても協力を惜しみません。

近年、人口減少、少子・超高齢化が進行しており、将来において地域崩壊や自治体運営が行き詰まる懸念があるとして、東京一極集中の是正や魅力ある地方の拠点都市づくりが民間の研究機関から提言されております。

こうした中、本市では、子育て世代にとっても高齢者にとっても暮らしやすいよう、福祉施策をバランスよく充実させるとともに、日常生活に必要なサービスを歩いて享受できるコンパクトなまちづくりに早くから取り組み、将来も持続できる都市を目指して都市経営に努めてまいりました。

今後も着実に施策の熟度を高めるとともに、福祉のみならず教育、文化、環境など、さまざまな面から都市の総合力を高めることにより、「住み続けたいまち」「選ばれるまち」を目指し、将来世代に責任を持てるまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

とりわけ、母子保健の分野では、すべての子どもが健やかに生まれ育つよう、乳幼児健康診査や乳幼児健康相談、健康教室、家庭訪問等を実施しています。また、子どもたちが地域の人に見守られながら育つことを願って、地域の健康づくりボランティアを育成し、地域ぐるみの子育て支援を推進しています。

さらに、現在、スマートフォンに妊娠期や子育て期の健康記録を残す機能に加え、市からの健診や予防接種の情報の配信が可能となる母子健康手帳アプリを製作中です。このアプリも活用し、長期間にわたるエコチル調査の参加継続につながるよう、協力してまいりたいと考えています。

このエコチル調査により、未来を担う子どもたちが健やかに育つ環境の実現が可能となることを市民とともに応援しています。

平成26年7月